

サロベツで出会う草花

5月



ミスバシヨウ

ヤチツツジ

タテヤマリンドウ

6月



シヨウジョウバカマ

ヒメシャクナゲ

ホロムイイチゴ

7月



イツツツジ

ツルコケモモ

カキツバタ

8月



コバイケイソウ

ワタスゲ(種)

エゾカンゾウ



ノハナシヨウブ

タチギボウシ

ナガバノシロワレモコウ



サワギキョウ

エゾリンドウ

コガネギク



札幌から 約 280km
旭川から 約 210km
稚内から 約 40km

札幌から 特急で約 4 時間 20 分
旭川から 特急で約 3 時間
稚内から 普通列車で約 40 分

JR 豊富駅からは路線バスが運行しています。
詳しくは沿岸バス (TEL.0164-62-1550) へお問い合わせ下さい。

サロベツ湿原センター Sarobetsu Wetland Center

〒098-4100 北海道天塩郡豊富町
上サロベツ 8662 番地
MAIL center@sarobetsu.or.jp
TEL 0162-82-3232
FAX 0162-82-1009

入館料 無 料
開館時間
5月-10月 / 9:00 ~ 17:00
※6-7月は 8:30 ~ 17:30 に時間延長
休館日: なし
11月-4月 / 10:00 ~ 16:00
休館日: 月曜・年末年始 (12/29 ~ 1/3)



さらに詳しく知りたい方はこちら! サロベツ湿原センター <http://www.sarobetsu.or.jp/center/>

北海道地方環境事務所 HP <http://hokkaido.env.go.jp/>
利尻礼文サロベツ国立公園 HP <http://www.env.go.jp/park/rishiri/>
サロベツ自然再生事業 HP <http://sarobetsu-saisei.jp/>



サロベツ原生花園 サロベツ 湿原 センター



SAROBETSU WETLAND CENTER

さあ サロベツ湿原へいこう!

サロベツってだれがつけたの?

この一帯は、アイヌの言葉で湿原を流れる川（サル・オ・ベツ）と呼ばれていました。だんだん時間がたつにつれ、言葉も変わって今ではサロベツと呼ばれるようになりました。

湿原ってどんなところ?

一万年ほど前、サロベツは海とつながった大きな湖でした。やがて枯れた草がたぐさん積み重なって湿原ができました。表面にはミズゴケが生えていて、いつもふんわり湿っています。水が豊かなので、いろいろな花や鳥、生きものたちがたぐさん集まってくるところでもあります。中でもヒシクイなどたぐさんの渡り鳥がサロベツへやってくるので、世界的にも重要な湿地（ラムサール条約湿地）として認められています。

自然再生ってなに?

サロベツでは湿原の乾燥化が進み大きな問題となっています。豊かな湿原を取りもどそうと国や町、地域の住民やサロベツが好きな人などたぐさんの人たちが一緒になって活動しています!

サロベツで出会える鳥たち



水質浄化湿地 すいしつじょうかじつち
 湿原センターなどから出る水は栄養分が含まれているため4段階の池でヨシや微生物の働きにより浄化しています。
 あごいね

泥炭産業館 でいたんさんぎょうかん
 かつてここで行われていた泥炭採掘の歴史を、工場で使われていた機械類などとあわせて紹介しています。

サロベツ湿原センター

サロベツ湿原の玄関口として、見どころや自然、原野開拓の歴史などについてわかりやすく紹介しています。展示エリアでは「人と自然の共生」をテーマに、サロベツ湿原の自然、人文、歴史などについて、また自然再生の目的や取組など、様々な情報を提供しています。情報をあつめられるね



気をつけましょう!
 ● ゴミは持ち帰りましょう
 ● 植物を採らないでください
 ● 野生動物にエサを与えないでください
 ● 木道上は禁煙です



展望デッキ1

展望デッキ2

休憩デッキ1

休憩デッキ2

泥炭を掘った跡が見えるよ

浚漕船 しゅんそうせん
 湿原の中から泥炭を採掘する時に活躍した浚漕船をそのまま展示しています。
 気持ちよく 戻おうね



採掘時の浚漕船



● ゴミは持ち帰りましょう
 ● 植物を採らないでください
 ● 野生動物にエサを与えないでください
 ● 木道上は禁煙です